

外用殺菌消毒剤

2023年06月改定（第1版）

貯法：室温保存

日本薬局方 イソプロパノール

有効期間：3年

イソプロパノール「ヤマゼン」M

日本標準商品分類番号

872615

承認番号 16100AMZ01616

販売開始 1984年1月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

損傷皮膚及び粘膜には使用しないこと〔刺激作用を有する〕

3. 組成・性状

3.1 組成

1mL中 日局イソプロパノール 1mL

3.2 製剤の性状

無色澄明の液で、特異なにおいがある。

水、メタノール、エタノール（95）又はジエチルエーテルと混和する。

燃えやすく、揮発性である。

4. 効能又は効果

- 手指・皮膚の消毒
- 医療機器の消毒

6. 用法及び用量

通常イソプロパノールとして、50～70%液を用いる。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発赤等
皮膚	刺激症状

12. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤使用時の注意

- 外用にのみ使用すること。
- 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- イソプロパノール蒸気を大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがあるので、広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意する。
- 本剤は血清、膿汁等のタンパク質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 引火性があり、爆発の危険性もあるため、火気（電気メス使用等も含む）には十分注意すること。
- 電気メス等を使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。電気メスによる発火事故が報告されている。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

微生物のタンパク質の変性凝固、代謝障害、溶菌により殺菌作用を示す¹⁾。

18.2 抗菌作用

本剤は、使用濃度において栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：イソプロパノール（Isopropanol）

化学名：Propan-2-ol

化学構造式：



分子式：C₃H₈O

分子量：60.10

性状：無色澄明の液で、特異なおいがある。

水、メタノール、エタノール（95）又はジエチルエーテルと混和する。

燃えやすく、揮発性である。

比重（20℃）：0.785～0.788

20. 取扱い上の注意

火気を避けて保管すること。

22. 包装

500mL（瓶）、16L（缶）

23. 主要文献

1) 第18改正日本薬局方解説書 廣川書店

24. 文献請求先及び問合せ先

山善製薬株式会社 学術室

〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

TEL 06-6231-1821 FAX 06-6231-1824

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号